

Nome0.24ドキュメント

飯高敏和

2013年2月18日

Xoops モジュール Nome0.2 のマイナーチェンジバージョンである、Nome0.24 を作成しました。疑似同期処理を導入できるようにしてあります。これを用いると理論的には、通信負荷が軽減されます。また、旧バージョンから引き続き、[ckeditor](#)、[Y. Swetake 氏の Qr_img0.5 i と Google のグラフとビューアの API および Xoops の入力フォーム](#) の改造版を使わせていただいています。開発者の方々には、心からお礼を申し上げます。

1.追加機能

- ①教員が授業中に表示する画面で、回答数表示に疑似同期処理を導入しました。
- ②教員が授業中に表示する画面で、コメント表示に疑似同期処理を導入しました。

2.動作環境

主に Windows7 の Xampp1.7.7 上で、XoopsCube2.2.1 で動作を確認。

3.インストール方法

通常の Xoops モジュールインストールをしたうえで、norm/admin/index.php にアクセスします。

4.アップグレード方法

STEP1:通常の Xoops モジュールアップグレードをします。

STEP2: norm/data フォルダを読み書き可能にします。

STEP3: norm/data/constant.php を削除します。

STEP4: norm/admin/index.php にアクセスします。

(index.php にアクセスして、constant.php を再作成する際に、疑似同期処理の導入を選択できます。疑似同時処理を切ると、以前のような html によるリフレッシュ処理になります)

5.その他

•/teacher/lecture_reg/comet_disp.php

の「sleep(5)」をコメントアウトすることで、完全に近い同時処理になります。また、sleep の引数を調整することでも、好みの間隔での更新ができます。

5.ノート共有機能

5.1 全体で共有

次のステップで、クラス全員でノートを共有できます。

STEP1:授業終了後の画面に教員がアクセスします。



図1 授業後画面

ここで、「受講者情報確認」をクリックします。

STEP2:受講者情報確認画面で、ノートをチェックしたいユーザを確認

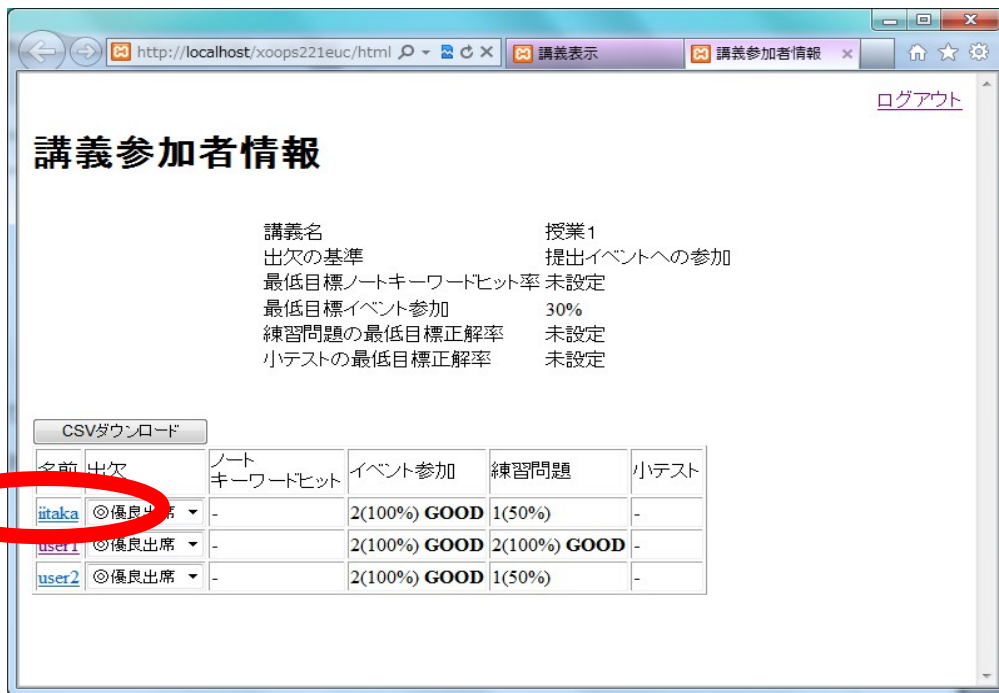


図2 受講者情報画面

ここで、確認したい受講者のリンクをクリックします。

STEP3:個人情報画面が表示され、ノートを見ることができます。

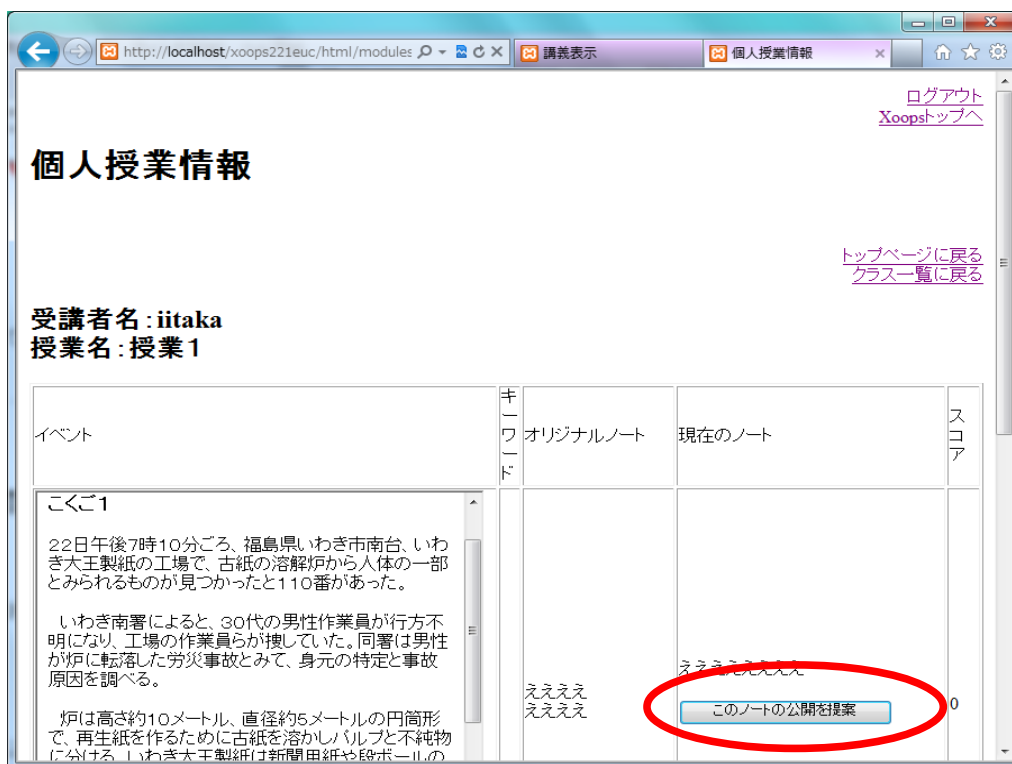


図3 個人情報画面

ここでみんなに見せたいノートについては、「このノートの公開を提案」ボタンを押します。

STEP4:今度は、受講者側から、公開を許可します。許可は、復習画面で行います。

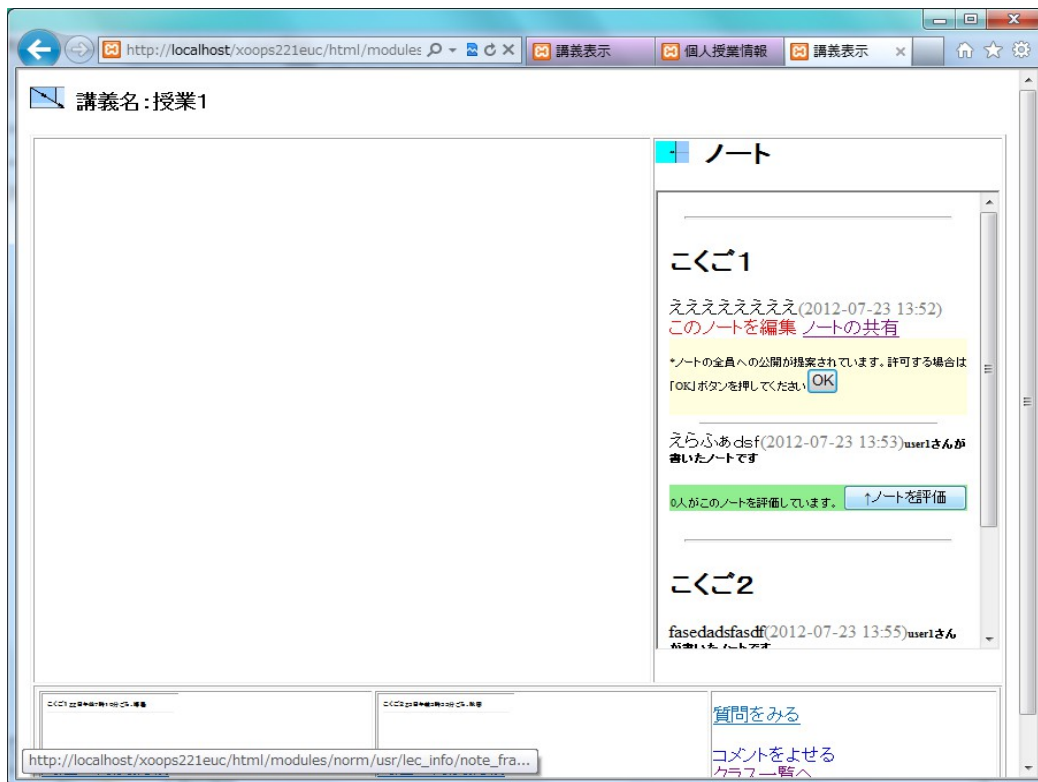


図4 復習画面

当該受講者の復習画面で、「OK」ボタンを押すと、ノートは全体で共有されます。

5.2 特定ユーザとノートを共有

受講者側の復習画面で、ユーザを指定してノートを共有することができます。